



中学校
1・2年生

しっかりはげまし、心のケアを十分にする

- 成績が思うように伸びない場合は、得意だったり好きな教科を集中的に伸ばしてみるのも、ひとつの選択だよ。
- 短い時間からでもいいので、学習時間が0（ゼロ）にならないよう、必ず家庭学習を行う習慣をつけていこう。

1.2 この頃の育ちの 特徴

中学校1・2年生の子どもたちは、周囲に依存したい気持ちと自立したい気持ちが入り交じり、不安や悩みを持って落ち込みやすい時期です。心と体の成長がアンバランスになりやすいので、しっかりはげましてあげることが大切です。中学校では教科ごとに先生がかわる、いわゆる教科担任制となり、部活動などもはじまります。子どもたちは小学校とのギャップを抱えながら、保護者の想像以上に頑張っている日々を過ごしています。まずは、中学校の生活リズムに慣れさせることが重要です。



家庭学習のヒント 【学習時間のめやす 90～120分】

小学校で学習する内容に比べて、中学校では教科ごとに教える先生がかわり、より専門的な内容を学びます。また、定期的にテストが実施されるので、家庭での計画的な学習が求められます。最初は、まず教科ごとに出される宿題からはじめ、やがて勉強方法や内容を工夫して、自分自身で何をするかを考え、決められるようになることが大切です。

国語

- ・教科書の音読
- ・漢字練習

※音読で意味のわからない語句や漢字が出てきたら、すぐに辞書で調べることを習慣づけましょう。漢字は、へんやつくり、字形を意識して書くと頭に入りやすく、忘れにくくなります。

英語

- ・復習

※忘れてしまわないうちに、教科書を見て単語や英文をゆっくりと発音しながら正しく書き写しましょう。単語も文の中で他の語と組み合わせで覚えることで、その語の意味やイメージが定着しやすくなります。

理科

- ・自由研究
- ・復習

※教科書やノートを見て学習したことをまとめることで理解が進みます。図にしてみるのもよい方法でしょう。また、学習内容と日常生活や社会との関連を考えたり、学習内容をもとにした、ものづくり、観察や観測をすると、原理や法則の理解が深まります。

数学

- ・復習
- ・いろいろな問題を解いてみる

※教科書の例題をもとに手順や仕組みを確かめて、間違いの原因をさがし改善する癖をつけることが大切。また、基本的な解きかたがわかっても、文章問題の形や表現方法が違っていると解けないことがあります。問題集などを使って、いろいろな問題に慣れておくことが必要です。

社会

- ・復習
- ・より深く調べて考える

※「教科書から重要語句や人物などをチェックしてノートに書く」⇒「資料・地図などで重要語句や人物を確かめてメモする」など、授業中に学習したことをわかりやすくまとめましょう。国や地域、歴史上の人物や出来事などを図書館の本やインターネットなどを活用してより詳しく調べてみるなど、授業で習ったことを社会の動きと関連させたり、生活の中で見つけたりすることも大切な学習です。



進路について家庭で話し合う時間をとる

- 将来を見据えた具体的な目標を持つことが、意欲の向上・学習への集中につながっていくよ。子どもと会話する時間を大切にしよう。
- 部活動の引退後は、授業終了後から夕食までの時間が長くなるよね。リズムがくずれてだらだらとした生活にならないよう、時間の使い方を工夫させよう。

この頃の育ちの特徴

中学校3年生は、進路を決める人生節目の大切な時期です。「やらなくては」と思っているのに、思うようにいかないとき、焦って自身にいら立って、ときには周囲への反抗がみられるかもしれません。進路に関する情報が不足していると一層不安な気持ちになるので、意識的に家庭でよく話し合える時間をつくっていくようにしましょう。

家庭学習のヒント 【学習時間のめやす 120 分以上】



中学校3年間のまとめの時期です。1・2年生の学習を含めて総復習をするための時間が必要となるので、そのことを頭に入れてスケジュールを組まなければいけません。年間のスケジュールを立てることで、どの時期に自分がなにをやればいいのかハッキリとします。

- ・くわしく知りたいことや、わからないことは、教科書や参考書で確かめましょう。
- ・国語の漢字や英語の単語や文型、数学の公式などは、繰り返し書いて覚えましょう。
- ・数学の計算や文章問題は、同じ問題や似た問題を問題集で解いてみましょう。
- ・社会や理科は、大切な語句や用語をわかりやすくまとめておきましょう。

夏休みの 活用方法

1・2年生までの総復習を集中して続ける絶好の機会です。問題集などのページ数と休みの残りの日数から、1日に学習する時間や量を決めて進めましょう。



冬休みの 活用方法

進路希望が明確になります。進路を見据えてラストスパートの時期。出題傾向を調べ、進路希望に合った問題集などに挑戦しましょう。

